

## 平成30年5月 国見町教育委員会 会議録

- 1、召集日時 平成30年5月14日(月)午後4時30分
- 2、召集場所 国見町役場 中会議室(3階)
- 3、議席指定 1番委員 石川 博利  
2番委員 志村 裕美  
3番委員 高橋 幸子  
5番委員 岡崎 忠昭
- 4、議事録書名人 2番委員 志村 裕美 5番委員 岡崎 忠昭
- 5、欠席委員 4番委員 赤坂 正行
- 6、説明のため出席  
教育次長兼学校教育課長 引地 由則  
幼児教育課長 中田 利枝  
生涯学習課長 引地 真  
指導主事 穴戸 正幸
- 7、書 記 学校教育課主任主査兼学校教育係長 黒田 典子
- 8、開 会 午後4時30分
- 9、教育長報告事項

教育長 : (1) 全国教育長会議に出席し、文部科学省行政説明から「社会に開かれた学校づくりと学校を核とした地域づくり」について講演が行われた。これからどんな国・人を育てていくのか、全員が主体者になって行動することが重要である。

私の意見だが、ユニクロ等は、企業が伸びていくためには日本人だから外国人だからという区別をしていない、企業づくりをしている。いろいろな企業で「日本」というアイデンティティをどのようにするか、協議していくことが重要。きちんと協議しないと曖昧な日本になってしまう。学校教育は明治時代から始まっており、学校教育も当然限界がある。人材教育は学校教育だけで賄うものではない。地域ぐるみで地域にあったものが作っていく必要がある。

(2) 国見の教育ビジョンは平成26年に作成、作成して5年が経過。統合直後で指針が無かった。今年度中に改定に向けてのロードマップを作りたい。

(3) 国見の読書振興に関する施策を作成したい。何を作るにしても、ベースとなるのは幅広い教養、人の文化。矛盾するかもしれないが独創性と協調性を培うのは、読書が良いのかと考えている。今年度文科省で第四次子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画が閣議で決定された。国見町としては子どもをつけない基本的な計画を作りたい。ブックカフェ、ショートショート、生涯学習課、学校教育課、幼児教育課でそれぞれ事業を俯瞰し、国見の読書の政策をこうやれば、こんな人が育つ。官民関係ないと思っている。5月の公報で人口が9,200人台になった。人口が減少傾向にある中、役場は役場、民間は民間と言っている場合ではない。外部の意見等を取り入れ、国見には何が必要でどんなことをやれば良いのかを幅広く作っていきたい。国で今年基本計画を作ったので、来年は

県、その後各市町村が作るようになるが、全国の様子をみると全国ばらばらに作っている。国の政策を受けてすぐに作る市町村、国が作る前に作る市町村もある。どのような形で作るのが良いのかわからないが、着手していきたい。

今まで(4)に教育長の出席会議等について報告していましたが、教育委員会は実行機関で決定機関であるため、もっと教育委員会で協議し、教育委員会で話し合ったことをベースとして、いろいろな審議会を立ち上げていければ良いと考えている。次回以降の教育委員会では、協議事項がある場合は協議し、教育長報告事項については、事業の進捗状況と短いスパンで評価検証の報告をさせて頂きたい。人口減少が良いのか悪いのか意見が分かれることではあるが、コンパクトな国造りが出来るから良いのではないかとの意見もある。いろいろな事が町全体で協議ができるような土壌づくりをしていきたい。⑩全国学力状況調査があった。結果については、8月に報告していきたい。⑳子どもクッキングクラブでは、皆さんからいろいろなご意見等を頂きながら、運営を行っていきたく思います。㉔子ども司書デー、ブックカフェは知恵を絞りながら、教育委員会、その他の方々に協力を得て運営していきたい。今回の司書デーは集客が悪かった。子ども司書の活動だけではなく、町全体の活動としてどのようなか検討していきたい。㉑の仲間づくり教室は57名が参加し開講式を行った。午後からの歌声喫茶「ともしび」では、参加者は楽しんでた。参加型のイベントは国見がいきいきとする為には必要な事業。

高橋委員：教育長の話を受けて、何かご意見等がありますか。他の市町村は新体制で教育委員会を運営、旧体制で運営しているのは数か所。教育委員会は認証するだけの委員会ではなくて、意見を出すべき機関にならなければならない。

石川委員：読書は子供の頃から続かないといけない。知識の吸収は子供だけではなく、大人まで含まなければ一環とは言えない。途中途切れないようなビジョンを作ってもらいたい。

岡崎委員：保幼小中と読書の習慣は続いているが、その後は難しい。今後地域を巻き込んだつなげ方を考えていきたい。

高橋委員：志村さん何かありますか。

志村委員：読書のことではないが、地域の人を巻き込むことが大変。初めは参加・協力してくれるが、だんだんと参加・協力してもらおうのが難しい。周りの意識が薄れていく、このような際にどのようにしたら地域を巻き込むことができるのか、方法が難しい。コミスクでもいえるが、関係者以外の人を巻き込むにはどのようにしたらいいか。何とか考えないと、継続することは難しい。

高橋委員：どの事業でも同じことが言える。ブックカフェの参加者が少なくならないのは、毎回講師が違う。継続するには同じメンバーで同じことをやっているうちは駄目。参加型で参加者が主催者になるようにしないと駄目。

岡崎委員：主催者+協力者のうちは駄目。参加者が主催者になるべきだが、リーダーは必要。

高橋委員：初めから参加型にすると、何かさせられると怖がって参加しなくなる。何度か参加し、慣れれば自主的に参加できるようになる。イベントは長い目で見ないと。読書を広めると全国的に言っているが、読書の目的が分かっていない。スポーツは基礎体力をつければ結果ができるが、読書は結果が見えない。個人的考えであるが、本を読んだ時に本の中

から一行を捨てるか。この一行を見つけられない人は人の意見に耳を傾けない人であり、このことが駄目なことである。私が考える読書はただ、読むだけでは駄目。何か一言でも、一行でも捨わせるようにさせたい。一行を見つけられるような活動をしていきたい。

石川委員：教育ビジョンの見直し、今後検討だが地域を含めたビジョンを作るのは大仕事だが、実際に活動しているコミスクについて明記してほしい。

高橋委員：コミスクでもみんなが参加できるように考えてほしい。ただ、義務で参加するのではないようにしてほしい。

石川委員：みんなが参加するのは難しい。今の形が良いのかはわからないが、いろいろ考えて欲しい。

## 10、各課からの報告

学校教育課：日程の確認

5月19日 国見小学校運動会

5月30日 福島県市町村教育委員会連絡協議会伊達支会総会並びに研修会

6月15日 教育委員会（くにみ幼稚園）

7月12日 から13日東北六県研修 教育委員会（山形県）

7月20日 平成30年度市町村教育委員研究協議会

情報提供 教育課程編成スケジュールについて

幼児教育課：未就学児童体力向上支援事業について

体力測定、生活アンケート、運動教室（7回）

子どもクラブ施設整備

男子便所便器洋式化、遊戯室証明修繕工事（LED）

くにみキッズフェスティバル 6月17日予定

くにみももたん広場、木育広場つながるーむの利用状況について

生涯学習課：文化芸術事業

① ベーゼンドルファー試弾会（4月14日～15日） 25組30人が試弾

② 町文連加盟団体成果発表 会場道の駅国見あつかしの郷（4月17日～19日）  
（5月3日～4日）

③ 歌声喫茶 新宿ともしびinくにみ（5月12日）

生涯学習事業

① 読書の日（4月23日～5月13日）

② 子ども司書デー（4月28日）

## 11、その他

引地次長：各会議の出欠確認

12、閉 会 午後5時30分

上記記録の正確なることを認めここに署名する。

平成30年5月14日

議事録書名人

2番委員

5番委員

会議書記

主任主査兼学校教育係長 黒田典子